

学生各位

令和5年10月31日
感染症予防対策本部
本部長 **新藤 博明**

新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えて

今般、厚生労働省によると、「今冬においては、新型コロナウイルス感染症（新型コロナ）について、今夏を上回る感染拡大が生じる可能性がある。加えて、季節性インフルエンザ（インフル）も流行し、より多数の発熱患者が同時に生じる可能性がある。」としています。

本学においても、同時流行の兆しが顕著となり今週は、新型コロナとインフルの罹患者がそれぞれ30名を超える状況にあります。これから年末年始にかけて学生各位は試験など学業に多忙な時期となります。特に4年生は国家試験を控えるなど学生生活の集大成をなる重要な時期となります。

学生各位がしっかりと感染防止の意識を浸透していただき健康管理に努めてください。また、新型コロナとインフルのワクチンは、それぞれ接種間隔を開けずに接種することが可能ですので、新型コロナとインフルエンザの同時流行に備え、まだ未接種の学生は早めに予防接種をお願いします。

以下は、コロナ禍の折、かつてご案内した感染防止ための取り組みを抜粋再掲いたしますので、徹底してください。

- 「自らが感染しない」「人に感染させない」ための行動の徹底。
- 「**マスク着用**」の徹底。
- 正しい手洗い・**手指消毒**を徹底。
- 通学前、体調不良時は外出しないことを徹底。
- 機械や窓の開放による**換気**を徹底。
- 各位の感染や濃厚接触が判明した場合は、学生課・各担任に速やかに連絡する。

以上

【参考】

以下は、自治体のホームページに掲載された対策です。参考にしてください。

新型コロナとインフルエンザの対策は同じです その①

感染に備えて、検査キットや薬などの準備をしておきましょう。
感染させてしまう可能性がある期間を知っておき、感染拡大防止に努めましょう。

検査キット・解熱鎮痛薬等の準備を

- ✓ **新型コロナ抗原定性検査キット**
「体外診断用医薬品」または「第1類医薬品」と表示されているキットを使用してください。
- ✓ **解熱鎮痛薬**
- ✓ **日持ちする食料**（ゼリーなど体調がすぐれない時も食べやすいもの、5～7日分を目安に）

注意！
検査キットや、解熱鎮痛薬の購入にあたっては、薬剤師等にご相談ください。

ほかの人に感染させてしまう可能性がある期間

- **新型コロナウイルス** 発症の2日前から発症後7日～10日間程度とされています。
- **インフルエンザ** 発症の前日から発症後3日～7日間とされています。

療養等の期間

- **新型コロナウイルス**
症状のある方は発症日から7日間。ただし、症状の軽快が7日目以降となった場合は、症状が軽快した日の翌日（24時間経過）まで延長となります。症状のない方は検体採取時に無症状、かつ療養中も症状がない場合は、**検体採取日を0日目として7日間**です。（上記のとおり、7日目以降も10日目頃まではほかの人に感染させてしまう可能性があります。）
※濃厚接触者は、陽性者との最終接触日から5日間です。
- **インフルエンザ** 発症した後5日間を経過し、かつ解熱した後2日間を経過するまでです。（上記のとおり、7日間は注意。）

1

新型コロナとインフルエンザの対策は同じです その②

**この冬は、新型コロナウイルスとインフルエンザが同時流行しています。
一人ひとりが感染対策を徹底し、感染リスクを下げましょう。**

- **基本的な感染対策の徹底をお願いします**
●正しいマスク着用、手洗い・消毒、十分な換気、人と人との距離確保！
- **症状がある場合は外出しない・人と会わないようにしましょう**
●症状がなくても、人と会う場合は注意する
●移動先の感染状況等の確認
- **飲食の機会は感染のリスクが高まります**
●短時間、距離を取る、会話時はマスクを着用する、大声での会話は控える
●席は移動しない
●感染防止対策の徹底された認定店を利用する
- **新型コロナワクチンの速やかな接種をお願いします**
●併せて、インフルエンザワクチンの接種の検討をお願いします。